

平成27年度 みやざき小中学校学習状況調査の結果（概要）

宮崎県教育委員会

1 実施の概要

調査目的	県内の公立小・中学校及び中等教育学校(前期課程)、特別支援学校の小・中学部における児童生徒の学習の定着状況を把握・分析し、その結果をもとに、学校における学習指導の充実・改善等に役立てる。	
実施期日	平成27年9月2日(水)・3日(木)	
対象学年・教科 調査人員	小学校第5学年：国語、社会、算数、理科	10,155人
	中学校第2学年：国語、社会、数学、理科、英語	10,298人
調査対象校	市町村立小学校 [230校]・中学校 [133校] ※5年生児童が在籍していない小学校 [10校] (分校を含む) は、除いている。	
	五ヶ瀬中等教育学校(前期課程)	
	宮崎西高等学校附属中学校	
	都城泉ヶ丘高等学校附属中学校	
	特別支援学校 [3校] (小学部3・中学部1) (調査の実施を希望する学校)	
	宮崎大学教育文化学部附属小学校 / 宮崎大学教育文化学部附属中学校	

2 調査の結果

(1) 小学校第5学年

(%)

教科	教育事務所別平均正答率	
	教育事務所名	平均正答率
国語	中部	63.9
	南部	64.2
	北部	64.9
	県全体	64.3
社会	中部	61.8
	南部	58.8
	北部	60.1
	県全体	60.9
算数	中部	62.8
	南部	61.5
	北部	61.0
	県全体	62.3
理科	中部	67.0
	南部	66.6
	北部	68.2
	県全体	67.2
4教科平均	中部	63.9
	南部	62.8
	北部	63.6
	県全体	63.7

○ 県の平均正答率は、調査対象校全ての正答率の平均で、教育事務所別の平均正答率は、各教育事務所管内の市町村立学校における正答率の平均です。

(2) 中学校第2学年

(%)

教科	教育事務所別平均正答率	
	教育事務所名	平均正答率
国語	中部	60.5
	南部	57.5
	北部	56.0
	県全体	59.6
社会	中部	53.3
	南部	53.1
	北部	52.0
	県全体	53.8
数学	中部	51.7
	南部	49.5
	北部	49.9
	県全体	51.8
理科	中部	49.0
	南部	47.7
	北部	46.8
	県全体	49.0
英語	中部	63.3
	南部	60.8
	北部	58.2
	県全体	62.4
5教科平均	中部	55.6
	南部	53.7
	北部	52.6
	県全体	55.3

○ 全教科の県全体の平均正答率は、小学校は63.7ポイント、中学校は55.3ポイントであり、教育事務所間の差をみると、最も高い地域と最も低い地域の差は、小学校は1.1ポイント、中学校は3.0ポイントである。

○ 小学校で最も教育事務所間の差が大きい教科は社会で、その差は3.0ポイントである。中学校で最も教育事務所間の差が大きい教科は英語で、5.1ポイントである。逆に、教育事務所間の差が最も小さい教科は、小学校は国語で1.0ポイント、中学校は社会で1.3ポイントである。